

平成29年度 会派調査研究報告書

(視察先1か所につき1枚)

会派名	公明党
出席者	森本由美子
事業名	生活困難者（ひきこもり等）の力を地域づくりに活かすシステムづくりについて
事業区分	①研究研修 ②調査

1. 韮崎市での課題と研修・調査の目的

「ひきこもり」に対する支援は大きな課題であるが、具体的には進んでいないと考える。NHKで秋田県藤里町の取り組み（藤里方式）が報道され注目されている。実際に藤里町社会福祉協議会ではどのようにして「ひきこもり」の力を引き出して活かしているのか調査することとした。

2. 実施概要

実施日時	平成29年11月20日（月）	10:00 ~ 14:00
視察先	秋田県藤里町社会福祉協議会	
担当部局	藤里町社会福祉協議会 会長	

報告内容

1. 藤里町の概況
① 人口 3,448人
② 世帯数 1,409世帯
③ 65歳以上 1,555人 高齢化率 45.09%（秋田県で2位）
④ 面積 282.1平方km

2. 町民全てが生涯現役を目指せる町創りへの挑戦
福祉の立場から地方創生を考える。「弱者でも地方創生の担い手になれる」をコンセプトに町民誰もが生涯現役を目指せる町づくりに取り組んだ。
2005年度から「福祉で町づくり」を合言葉に地域トータルケア推進事業を実施し、その中の一つに、藤里町社協の独自の取り組み、「次世代の担い手づくり」を掲げ、ひきこもり者及び長期不就労者、在宅障がい者等支援事業として展開。地域から情報を得る中で対象者を把握している。社会福祉士や精神保健福祉士の資格を持つ職員が家庭訪問を専任し、伴走型相談支援として継続的に訪問指導していく中で、社会復帰や社会参加につなげている。具体的には、ハローワークでの手続等の支援、昼夜逆転からの支援、「こみっと」通信の配達、「こみっと」各事業へのお誘いなど。就労支援の情報チラシを1軒1軒対象者に投げ込み、その情報を知って社協に訪れる人がいることから、多くのひきこもり者が実は仕事をしたいが、実際には中々情報が入ってこないということを認識したという。2010年から、福祉の拠点「こみっと」を開設しひきこもり・不就労・障がい等の方々为社会復帰するための活動の場を確保し、就労支援としてお食事処や配食サービスを展開したりして、職業体験プログラムを実施している。直近の活動では地元特産物の白神まいたけキッシュを考案し、全国から注文が殺到していて就労の後押しとなっている。
ちなみに一切れ食しましたが、とても美味しくマイタケの香り一杯の絶品だった。ひきこもりだった若者がチーフになって8人で切り盛りをしている和食処の「こみっとうどん」も大変美味。「こみっと」とは、参加する、関わり合うという意味。
また、注目されているのは「こみっとバンク」事業。登録制で、地域の農家や企業から要請があれば、職員の支援の下で働き工賃をいただくしくみ。
時給110円～550円。

社会復帰するためには自己肯定感を回復、向上させることが必要であり、そのための訓練の講師を地域の方が担うことで、地域にも理解を深める機会にもなっていると同時に社会的スキルの獲得と向上につながっている。一般就労についた後も、必要に応じて相談支援ができるように伴走型支援体制は継続させているという。
こうした活動の結果、2010年には町で113人のひきこもり・不就労者であったのが、86人が就労で自立した。

3.自立訓練（生活訓練）事業所「くまげら館」を備え、宿泊して一人で自立した日常生活、社会生活ができるよう訓練を行っている。
就労継続支援B型として、就労意欲を高める訓練も行っている。
家賃 月額7,000円、食費1日1,000円、訓練等給付費の助成が活用できる仕組みになっている。
いずれにしても、町社会福祉協議会が行っていることで安心して訓練事業に参加しているようである。

1. 運営状況

行政一般会計予算 32億円 社協予算 2億7千万円
職員体制 事務局、地域支援、相談支援、デイサービス、配食の職員等
合計51人であるが、ほとんどの職員が資格取得に挑戦しエキスパートになっていることに驚いた。

資格取得状況 社会福祉士 13人、精神保健福祉士 9人、
正准看護師 4人、介護支援専門員 18人
介護福祉士 30人、保育士 2人

資格がなくてもできる仕事だと思っている限りは向上しない。と、ヘルパーさんも泣きながら勉強したそう。皆、誇りを持って取り組んでいる。

2. 考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか）

本市でも、福祉総合相談で職員が出向いていくこともあると聞いているが、実際には職員数も少なく現状は厳しいのではないかとと思われる。藤里町社協のようにひきこもり・不就労の方々への伴走型相談支援体制ができることが望まれる。

社会福祉協議会 会長の「どんな弱者でも地方創生の担い手になれる。町民だれもが生涯現役を目指せる」との信念、確信がここまでの活動に繋がったのだと思う。

感想（まとめ）
・市政に活かせること

11月20日(月) 10:00~14:00



研修（こみっと会議室）



菊池まゆみ会長（左から2番目）と。



福祉の拠点「こみっと」を視察



自立訓練（生活訓練）事業所を視察

社会復帰
するため